

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、当座預金残高が概ね210兆円前後と高水準で推移した。また、14日には日銀発表の残り所要積立額が0億円となるなど、資金余剰感は引き続き強かった。無担保コールO/N物の中心の出合いは信託・地銀・証券が0.068~0.065%付近となっていた。大手行は大口で0.06%台の調達が見られた。週間の無担保コールO/N加重平均レートは0.06%台後半で推移した。ターム物は、大手証券から3Mの調達希望が見られた。また、大手行からは2W物の調達が見られた。固定金利方式の共通担保オペは14日に8,000億円・3M、15日に15,000億円・3Mでオファーされた。結果はそれぞれ、応札額1,331億円(期落ち分1,751億円)・応札額11,251億円(期落ち分13,630億円)と札割れになった。

今週の資金需給は、20日にTB1Y発行超過、21日に5Y発行等があり、それぞれ大幅な不足日となる見通し。買入オペの実行を加味しても、週全体では不足となる見込み。イベントとしては、19日の4月の英CPI、20日の1-3月期のGDP1次速報、21~22日の金融政策決定会合、22日の4月の米CPI等が挙げられる。

2. オープン市場

7~8日の短国市場は、動意に乏しく閑散とした地合いであった。8日に実施された3M物の入札は、平均落札利回▲0.0036%、按分落札利回▲0.002%と概ね事前予想通りの堅調な結果となった。11~15日の短国市場は、週を通して品薄感が強い中、12日に6M物、14日に3M物の入札が実施された。12日に実施された6M物の入札は、平均・按分落札利回共に▲0.006%となるなど、オペでの売却を見込んだ応札からか、事前予想よりも強めの結果となった。セカンダリーは▲0.017~▲0.015%と強めの出合いが散見された。14日に実施された3M物の入札は、WI取引で▲0.002~▲0.001%のまとまった出合いが見られたものの、平均落札利回▲0.0024%、按分落札利回0%、按分率27.1817%と概ね事前予想通りの結果におさまった。直近の3M物入札は平均・按分レート共にマイナスとなる結果が続いていたが、4月16日以来、約1か月ぶりに按分レートが0%となった。短国買入オペは週中に2回オファーされた。11日実施の短国買入オペは、前回比2,500億円減額の2兆円でオファーされた。引値の低い銘柄を中心に応札されたためか、平均利回較差+0.002%、按分利回較差+0.001%という結果となった。15日実施分は、2兆円でオファーされた。週中に6M物と3M物の2本の入札があったことで、増額も期待されたものの、オファー額は前回と同額となった。6M物を中心に応札されたためか、平均・按分利回較差共に+0.002%、按分率95.1%という結果となった。

7~8日のCP市場は、8日にCP等買入オペが3,500億円で開催された。500億円減額されたことや、特定銘柄での売却ニーズの高まりを受け、各落札利回りは平均0.089%、按分0.082%と前回(0.079%、0.074%)から上昇した。11~15日のCP市場は、週間の償還総額8,400億円程度に対して、発行総額は6,900億円程度となった。鉄鋼等の一部業態で大型の発行が見られたものの、週を通して発行案件が少なく、発行残高は小幅低下となった。発行レートは、直近のCP等買入オペの落札利回が上昇したことから、レート上昇の期待もあったものの、特段変化は見られず、概ね横ばい圏で推移した。一部購入意欲の強い銘柄では若干レートが低下した。

来週の短国市場は18日に1Y物、21日に3M物の入札が予定されている。1Y物は引き続き堅調な結果が見込まれる。CP市場は18日にCP等買入オペが3,500億円で開催される予定となっており、発行市場の落ち着いた動きを反映して、落札利回りが低下するかどうか注目される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で800億円程度の還収超見通し。財政等要因は、20日のTB1Y発行超過、21日の5Y発行等があり、5兆7,000億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で5兆6,200億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。＜18日＞TB3M;償還51,400億円・発行54,000億円/30Y;発行8,000億円/交付税特会借入:期日10,500億円・新規10,500億円 ＜20日＞TB1Y;償還15,500億円・発行25,000億円/エネルギー対策借入:期日4,500億円・新規5,000億円 ＜21日＞5Y;発行25,000億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
5/18 (月)	1,800	△ 16,000	△ 14,200	全店共通 (固) CP買入 ETF買入	△ 1,800 △ 300	1,300 400	△ 400	△ 14,600
5/19 (火)	0	△ 1,000	△ 1,000	全店共通 (固) 社債買入 国債買入 短国買入	△ 13,600	11,300 1,300 11,300 20,000	30,300	29,300
5/20 (水)	0	△ 11,000	△ 11,000				0	△ 11,000
5/21 (木)	0	△ 29,000	△ 29,000	CP買入		3,500	3,500	△ 25,500
5/22 (金)	△ 1,000	0	△ 1,000	全店共通 (固)	△ 3,600		△ 3,600	△ 4,600
週間合計	800	△ 57,000	△ 56,200		△ 19,300	49,100	29,800	△ 26,400

(注) 上表の5/18は日銀予想、5/19以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
5/18 (月)	3月の機械受注統計 (内閣府 8:50) 3月のマネタリーベース (日銀 8:50) 3月の第3次産業活動指数 (経済産業省 8:50) 3月の石油等消費動向統計 (経済産業省 13:30)	TB1Y 25,000億円 5/20発行	
5/19 (火)		5Y 25,000億円 5/21発行	4月の米住宅着工件数 4月のユーロ圏消費者物価指数改定値 4月の英消費者物価指数
5/20 (水)	1-3月期のGDP 1次速報 (内閣府 8:50) 3月の景気動向指数改訂状況 (内閣府 14:00)		
5/21 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合 (1日目 14:00~)	TB3M 54,000億円 5/25発行	4月の米中古住宅販売
5/22 (金)	日銀政策委・金融政策決定会合 (2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見 (15:30)		4月の米消費者物価指数

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しの書面や目論見書をよくお読みください。